借　入　状　況　報　告

必ず、どちらかに○印を記入してください。

1．借入状況

※他の金融機関等からの借入状況の有無について、必ずどちらかに○印をしてください。

住宅金融支援機構	有・(無)	銀行	(有)・無	その他公庫	有・(無)	労働金庫	有・(無)
信用金庫	有・(無)	信用組合	有・(無)	消費者金融	有・(無)	信販会社	有・(無)
地方公共団体による住宅融資等	有・(無)	互助会	(有)・無	個人	有・(無)	その他	有・(無)

※上記で「有」に○印したものについて、以下に記入してください。

他の金融機関等からの借入状況記載欄

借入先	既借入分 借入日	既借入分 借入額(万円)	既借入分 現在の残高(円)	既借入分 毎月の償還額(円)	既借入分 ボーナスの償還額(円)	新規借入分 借入日	新規借入分 借入額(万円)	新規借入分 毎月の償還額(円)	新規借入分 ボーナスの償還額(円)
○○銀行	○○.○○.○○	500	2,000,000	15,000	30,000				
市互助会	○○.○○.○○	50	100,000	5,000	0				
計				(A) 20,000	(F) 30,000			(B) 0	(G) 0

1．借入状況で「有」に丸印を記入したものについて、記入してください。

共済組合の他に借り入れがある場合、記入してください。以前に、共済組合から借り入れをしたことがあり、その際に他の金融機関から借り入れがあったものについて、償還済みであれば、「完済証明書」を添付してください。

共済組合からの借入状況記載欄

貸付種類	既借入分 借入日	既借入分 借入額(万円)	既借入分 現在の残高(円)	既借入分 毎月の償還額(円)	既借入分 ボーナスの償還額(円)	新規借入分 借入日	新規借入分 借入額(万円)	新規借入分 毎月の償還額(円)	新規借入分 ボーナスの償還額(円)
普通貸付	○○.○○.○○	100	450,000	(16,000)	(32,000)	○○.○○.○○	95	15,000	30,000
住宅貸付	○○.○○.○○	900	7,000,000	42,000	84,000				
物資購買	○○.○○.○○	300	1,500,000	25,800	77,400				
				(C) 67,800	(H) 161,400			(D) 15,000	(I) 30,000

貸付申込書に記入した残高と同じ金額を記入してください。

毎月の償還額（A）＋（B）＋（C）＋（D）＝ 102,800 円（E）

ボーナス償還額（F）＋（G）＋（H）＋（I）＝ 221,400 円（J）

必ず、**給料月額**をご記入ください。（標準報酬月額ではありません。）

2．給料月額に対する毎月の償還額の割合

毎月の償還額（E）	給料月額（K）	貸付申込月の正規勤務時間（X）＊	貸付申込月の休業予定時間（Y）＊	割合〔E÷（K×（1－（Y÷X））×100〕
102,800 円	400,000 円	時間	時間	25 %

＊ 貸付申込月の正規勤務時間（X）及び貸付申込月の休業予定時間（Y）は、部分休業中の場合に記入してください。

※ 給料月額(K)に対する毎月の償還額(E)の割合が、３０％を超える場合は、貸付ができません。

※ 令和４年１０月１日以降組合員適用となった[illegible]酬」と読み替えて記入してください。

※ 部分休業中の場合は、減額後の給料（または[illegible]の償還額(E)の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。

小数点以下、切捨て

必ず、**給料月額**を基礎として、算定してください。（標準報酬月額を基礎として算定しないでください。）

3．年収額に対する年間償還額の割合

年間償還額｛E×12 ＋ J×2｝（L）	年収額｛K×12 ＋ K×4｝（M）	割合〔L÷（M×（1－（Y÷X））×100〕
1,676,400 円	6,400,000 円	26 %

※年収額(M)に対する年間償還額(L)の割合が、３０％を超える場合は、貸付ができません。

※部分休業中の場合は、減額後の年収額（M×(1-Y/X)）に対する年間の償還額(L)の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。

小数点以下、切捨て

私の借入状況は上記事実に相違ないことを申告し、以下の事項について同意します。

1．この申告について、所属所長が確認すること。

2．裏面の記入上の注意を確認し、これに従うこと。

3．この申告と相違する場合は、共済組合の即時償還命令に従います。

○○年○○月○○日

福岡県市町村職員共済組合理事長　様

申込人氏名　共済　太郎　印

※申込人自ら署名する場合は、押印は不要です。